

使用した辞書類: Rikaichan (Mozilla Firefoxのアドオン, 日本語・英語), Amebis.si (スロベニア語・英語のオンライン辞書), Google検索エンジン, コトバンク(日本語で定義を調べるウェブサイト)

行番号	読んだ素材		協力者の発言内容		データ収集者の発言内容	備考
	ページ	文章	発言	日本語訳		
1		少女マンガの「戦う少女」にみるジェンダー規範—『リボンの騎士』から『美少女戦士セーラームーン』まで	Umm, 少女マンガの戦う少女にみるジェンダー、えー、これ「規範のこと」をいつも忘れず「日本語で発言する」Umm, [Rikaichanで「規範」を検索する]「規範」日本語で発言する?	うーん、「少女マンガの戦う少女にみるジェンダー、えー、これ「規範のこと」をいつも忘れず」。うーん, [Rikaichanで「規範」を検索する]「規範」?		
2					うん。	
3			リボンの騎士から[日本語で発言する], umm, 美少女戦士セーラームーンまで[日本語で発言する]。	「リボンの騎士から」。うーん, 「美少女戦士セーラームーンまで」。		
4					うん。今規範っていう言葉が分からなかったの。	
5			はい、で、そのときは[日本語で発言する]。	「はい、で、そのときは」。		
6					うん。	
7			あ、う。マウスでその言葉を[日本語で発言する]。	「あ、う。マウスでその言葉を」。		
8					うん。	
9			と押すと[日本語で発言する]。	「と押すと」[マウスのカーソルを合わせる、ということ]。		
10					ああ。	
11			下に[日本語で発言する]。	「下に」。		
12					ちょっと待って、えっと、スロベニア語だよ。	
13			あ、スロベニア語[日本語で発言する][笑う]。	「あ、スロベニア語」[笑う]。		
14					[笑う。]ごめんなさい、そうでした。	
15			[笑う。]	[笑う。]		
16					ごめん、ごめん。	
17			Se pravi, ko.	つまり。		
18					はい。	
19			Ne vem, katera beseda je.	言葉が分からないとき。		
20					うん。	
21			Ali pa ne znam prebrati besede.	あるいは言葉が読めないとき。		
22					うん。	
23			Gram z miško čez tisto besedo.	マウスでその単語にカーソルを合わせて。		
24					うん。	
25			In se pod besedo pojavi.	単語の下に[ポップアップ画面で]表示されるのは。		
26					これは[辞書のアドオン]Rikaichanですわ。	
27			はい[日本語で発言する]。Umm, beseda in pa možni angleški prevodi, pomeni.	「はい」, うーん, 単語(の読み方)と英語訳, [英語の]意味です。		
28					分かりました。つまり、ひらがなでの読み方と英語訳の意味ですね。	
29			Ja, ja. Zelo velikokrat se zgodi, da je v bitvu že branje dovolj, da jaz, aha, ja, ok, to je tisto, ne [単語の意味を理解するには]。	はい、はい、実は、ああ、はい、分かりました。これは、あれですね。[単語の意味を理解するには]、読み方だけで十分だということが多いです。		
30					うん。	
31			Če pa ne poznam besede, potem pa ponovadi poskusim iz, iz iz danih, umm, prevodov razumeti za katero besedo gre.	そして、単語が分からない場合は、普段は与えられた、うーん、翻訳から、から、からの単語なのか理解しようします。		
32					うん。	
33			Če mi pa ni jasno, pa naprej razbičem.	そして、はっきりしない場合は、もっと詳しく調べます。		
34					うん。まずは何を。	
35			Aa.	ああ。		
36					調べますか。	
37			Z Googlom[笑う]。	Googleで[笑う]。		
38					うん。	
39		1. はじめに筆者は、修士研究「少女雑誌にみる『理想的少女』イメージの変遷」(2002年09月提出)において、明治・大正時代から戦後にかけて発行された少女向け雑誌を分析の対象とし、「少女」のイメージが形成されたプロセスを、我が国全体の社会的文化的推移と比較、考察を行った。	Paš kaj mi da ven[調べます]。Ponavadi očetem grem na kakšen ta, kaj je že, Weblio in podobno. Na japonskih straneh ponavadi poskusim poiskati. Umm, 1. はじめに[日本語で発言する], umm, 筆者の調査は[日本語で発言する], mm, 修士研究少女ざ、じゃ、雑誌にみる[日本語で発言する], umm, 『理想的少女』イメージの[日本語で発言する], umm, [Rikaichanで「変遷」を検索する] 変遷[日本語で発言する]。	出てくるものを[調べます]。そのあとは、普段この何でしたっけ。Weblioとかで[調べ]てくれます。普段は、日本語のウェブサイトで見つけようとしてます。うーん、「1. はじめに」, うーん, 「筆者の調査は」, えー, 「修士研究少女ざ、じゃ、雑誌にみる」, うーん, 「理想的少女」イメージの, うーん, [Rikaichanで「変遷」を検索する]「変遷」。		[要約を読まない。]
40					うん。今は変遷をRikaichanで読みましたわ。	
41			はい[日本語で発言する]。ja.	「はい」, はい。		
42					うん。	
43			Umm, 2002年9月提出、において[日本語で発言する], umm, 明治大正時代から戦後にかけて、発行、これは発行[日本語で発言する] [Rikaichanで「発行」を検索する]?あ、発行[日本語で発言する]。	うーん, 「2002年9月提出、において」, うーん, 「明治大正時代から戦後にかけて、発行、これは発行」[Rikaichanで「発行」を検索する]?「あ、発行」。		
44					Rikaichanですか。	

45		Preverla sem.	確認しました。		
46				はい。	
47		Branje, ja. Umm, された少女向け雑誌を分析のたいたい、たい【日本語で発話する】[Rikaichanで「対象」を検索する]。	読み方を、はい、うーん、「された少女向け雑誌を分析のたい、たい、たい」[Rikaichanで「対象」を検索する]。		
48				Rikaichanですか。	
49		対象【日本語で発話する】。	「対象」。		
50				[笑う、]	
51		対象【日本語で発話する】[笑う]。Ja, zelo velikokrat preverjam, Pač, ali si se prav spomnim breznja! [確認します]。Umm, 対象と【日本語で発話する】。umm, 少女のイメージが、うーん、けい、けい、けい【日本語で発話する】[Rikaichanで「形成」を検索する]。	「対象」[笑う]。はい、よく確認します。まあ、読み方を正しく覚えているか【確認します】。うーん、「対象と」。うーん、「少女のイメージが、うーん、けい、けい」[Rikaichanで「形成」を検索する]。		
52				Rikaichan。	
53		Rikaichan, ja.	Rikaichan, はい。		
54				うん。	
55		形成, あ, 形成された【日本語で発話する】。umm, プロセスを我が国全体の社会的文, 社会的文化的【日本語で発話する】。	「形成, あ, 形成された」。うーん、「プロセスを我が国全体の社会的文, 社会的文化的」。		
56				Rikaichan。	
57		すい, すい, すい【日本語で発話する】[Rikaichanで「推移」を検索する]。	「すい, すい, すい」[Rikaichanで「推移」を検索する]。		
58				うん。	
59		Umm, recimo v tem primeru ni ni povsem jasno, zakaj se uporablja. umm, ta 的【日本語で発話する】dvakrat.	うーん、たとえばこの場合は、うーん、この「的」が2回使われている理由がよく分からないのです。		
60				うん。	
61		社会的文化的【日本語で発話する】。	「社会的文化的」。		
62				うん。	
63		In grem pogledat, ali so kakšna primerna [説明, 例文]。	ですから、適切な【説明, 例文】などがあるかどうか調べます。		
64				そして今はGoogleです。	
65		Ja, na Google sem šla.	はい、Googleに移りました。		
66				うん。	
67		Pač to, to, v bistvu označim besedilo in, umm,	まあこの、この、つまりテキストを選択して、うーん。		
68				うん。	
69		Z levim klikom [右クリックのこと] imaš potem Search Google Japan for [英語で発話する] [という機能]。	左クリック[右クリックのこと]とSearch Google Japan for [英語で発話する] [という機能]があります。		
70				うん。	
71		To ti to besedo [「社会的文化的」を日本語版Googleで検索します]。	この単語とこの単語[「社会的文化的」]を[日本語版Googleで検索します]。		検索したい日本語の単語を、日本語版Googleで検索すること。今回は、「社会的文化的」を選択して右クリックをし、表示されるオプション「Search Google Japan」を選択し、日本語版Googleで検索する
72				なるほど。	
73		Umm,	うーん。		
74				そしてこれ【調べている単語】に移って、	
75		Ja.	はい。		
76				[聞き取り不能。]を調べて、	
77		Ja. Jaz imam, imam nastavljen na default, da mi v bistvu išče po Google.co.jp. Se pravi, da imam čim bližje rezultate tem, ki bi jih v bistvu na Japonskem došla. Ker takrat, ko sem bila v A [大学名], sem opazila, da dobivam zelo različne rezultate od tega, kar tam, kar pa pri nas [スロベニア]。	はい、私は、検索はGoogle.co.jpを[Google]の標準設定にしているのです。つまり、日本語で検索して出てくる結果に、できるだけ近づけるためです。なぜなら、[大学名]にいた時、検索結果がここ[スロベニア]で出てくるものと非常に異なる、ということに気づいたからです。		
78				うん。	
79		Pač, če z našim [スロベニア語版] Google.si brskam, so za japonsko samo zelo velikokrat bolj primerni rezultati ti, ki jih v bistvu na, umm, japonskem Googlu dobin.	まあ、ここ[スロベニア語版]Googleで検索すると、日本語[の検索]自体は要するに、うーん、ほとんどの場合、日本語版Googleで出てくるものの方が適切です。		
80				[検索結果がGoogleの言語設定によって違うんですか]	
81		So različni rezultati [笑う]。	違います[笑う]。		
82				そうですね。	
83		So, Pač, eno je to, drugo pa [おそらく検索結果がGoogleの言語設定によって違うという意味]。	そうですね、まあ、これはこうで、それは[おそらく検索結果がGoogleの言語設定によって違うという意味]。		
84				では、ほとんどは中国語[での結果]が出てきますか。個人的に中国語の結果が多いです。	
85		Tudi, tudi se zgodi.	はい、そういうこともあります。		
86				ひらがなが検索にないときは[中国語が多い]。	
87		Tudi se zgodi, umm, pa, umm, veliko je tudi odvisno od zgodovine iskanja.	そういうことも、うーん、ありますし、うーん、検索履歴の影響も大きいです。		
88				あ。	
89		Kaj imaš [何を過去に検索したかという意味]。ne.	何があるか[何を過去に検索したかという意味]ですね。		
90				そうですね。	
91		Umm, pa v bistvu na slovenskem Googlu ti prej da ven, umm, slovenskih [結果です]。slovenskih v bistvu ne toliko, ampak angleške rezultate.	うーん、そして、つまり、スロベニア語版Googleがまず表示するのはスロベニア語の[結果です]。まあ、スロベニア語の結果はあまりなくて、英語の結果です。		
92				うん。	

93		[スロベニア語版Googleで検索して、日本語の結果が] Če jih le najde, ponavadi tisto pokaže prvo. ne. Mene pa v bistvu večkrat zanima, kako se, umm, beseda rabi v japonščini.	[スロベニア語版Googleで検索して、日本語の結果が見つければ、それが先に出てきますね、でも私は、うん、基本的に、その単語の日本語での使い方に興味があります。		
94				うん。	
95		Umm, zdaj v tem primeru [日本語版Googleで「社会的文化的的」を入力して検索する]。	うん、この場合は[日本語版Googleで「社会的文化的的」を入力して検索する]。		社会的文化的。
96					
97		Ja, iščem to [行番号82の「社会的文化的」をさす]。	はい、これ[行番号82の「社会的文化的」をさす]を調べています。		
98				うん。	
99		In vidim, da je večinoma, da se parkrat pojavlja skupaj.	そして、ほとんどの場合、共起して表示されています。		
100				うん。	
101		Potem pa imaš vmes v bistvu 社会的および文化的 [日本語で発話する] recimo.	そして[言葉の間]には、たとえば、つまり、「社会的および文化的」とかです。		
102				うん。	
103		Ali pa to pikico [行番号82の中黒「・」のことをいう] kijo imaš vmes, ne.	あるいは、この点[行番号82の中黒「・」のことをいう]が間にありますね。		
104				うん。	
105		Umm, tako da predvidevam, da gre, da samo manjkata vejica ali pa pikica v samem besedilu.	うん、ですから、これは、テキスト自体にコンマや中黒が省略されているだけだと思います。		
106				うん。	
107		Umm, da to ni nekakšna posebna skupna besedna zveza ali kaj podobnega.	うん、向らかの特別な共起表現とはではないと思います。		
108				うん。	
109		Umm, と比較 [日本語で発話する]。Ja, ta 比較 [日本語で発話する] zelo rada pozabijam.	うん、「と比較」、はい、この「比較」、よく忘れてしまったり。		
110					[笑う。]
111		kako se prebere, in istočasno se ga spominim, ampak v redu.	読み方を、と同時に思い出しますが、まあ、いいのです。		
112				うん。	
113		Umm, こうさ、考察 [日本語で発話する]? [Rikaichanで「考察」を検索する] 考察 [日本語で発話する] je, ja.	うん、「こうさ、考察」? [Rikaichanで「考察」を検索する]「考察」です。はい。		
114				うん、訳しますか。	
115		Ja, を行った [日本語で発話する]。umm, 修士研究 [日本語で発話する]。	はい、「を行った」、うん、「修士研究」。		
116				ああ。	
117		Aja.	あ。		
118					ここまで。
119		Prevedem, ja.	訳します。はい。		
120					普段は文を最後まで読んでから訳しますか。
121		Umm, v bistvu si ponavadi poskusim, umm, sproti.	うん、実は普段、うん、読みながら。		
122					読みながら解釈して。
123		V glavi prevajati. Pač, zdaj je malo drugače zaradi tega, ker moram še govoriti.	頭の中で訳そうとしています。まあ、今は話さなければいけないので、少し遅いですが。		
124					[笑う。]
125		Kaj, kaj razmišljam, kaj delam in podobno [話さなければいけませんから]。	何、何を考えているとか、何をしているとか[話さなければいけませんから]。		
126				はい、はい。	
127		Tako da, umm, mislim, da bi ta stavek normalno, umm, da mi ga ne bi bilo treba posebej prevajati.	ということで、うん、この[ような]文は普段、うん、訳す必要が特になくと思います。		
128				うん。	
129		Umm, pač, v sam pomen stavka se ponavadi, umm, poglajbam takrat, ko mi celotna sestava stavka ni povsem jasna. Kar mislim, da se bo tukaj še zgodilo zaradi tega, ker so zelo dolgi stavki [笑う]。	うん、まあ、文の意味自体については、普段、うん、文の全体的な構成が明確ではないときに考えます。[今回読む]文が長いので、ここでさういふ[文章の意味を考える]ことが、これから起きそうです[笑う]。		
130				うん。	
131		Umm, torej, umm [6秒間無音]。Tukaj piše, da pisec tega članka, umm, v bistvu, a to [文を再読する] kot del svojega magistrskega študija, umm, s tudra te, umm, kako se v, v 少女 [日本語で発話する] magazinih vidim, umm, isto odesno žensko ali pa dekleta, in pa, kaj je že tole, 愛蓮 [日本語で発話する] aha, kako se ta [理想的な女性または少女のイメージ] spreminja, ja, in da [6秒間無音]。v bistvu gre za naslov članka, ki je bil objavljen leta 2000 [2002年を2000年と間違えたというより、スロベニア語の文法では「2002年」が文法に合うため、最後まで読まなかったと思われ]に出版された記事のタイトル, umm, ne naslov članka, 研究 [日本語で発話する] je, umm, タイトル [日本語で発話する] raziskave.	うん、つまり、うん [6秒間無音]。ここは、この記事の著者が、うん、つまり、これは[文を再読する] [著者]自身の修士研究の一部として、うん、この、うん、「少女」向け雑誌で、うん、理想的な女性または少女のイメージなのか、そして、これ[愛蓮]は何でしたか。ああ、これ[理想的な女性または少女のイメージ]がどう変わっていくのかを研究しています。はい、そして[6秒間無音]。要するに、にせ、[2002年を2000年と間違えたというより、スロベニア語の文法では「2002年」が文法に合うため、最後まで読まなかったと思われ]に出版された記事のタイトル、うん、記事のタイトルではなくて、「研究」です。うん、研究の「タイトル」です。		
132				うん、どのような研究ですか。	
133		Umm, magistrska raziskava.	うん、修士研究です。		
134				うん。	
135		Se pravi, predvidevam, da gre za magistrsko nalogo.	つまり、おそらく修士論文が。		
136				うん。	
137		Ki je bila objavljena leta 2002 in ta članek v bistvu gradi na tem, ki govori o, ki raziskuje te, umm, magazine za ženske, ki so bili, umm, objavljeni v obdobju Meiji in Taisho in po, po vojni, umm, pač, motraj teh magazinov pa raziskuje silo 少女 [日本語で発話する] dekle, ženska, dekle v bistvu, umm, 形成 [日本語で発話する] pač, kako je.	[修士論文が]2002年に出版されて、この記事は要するにその、うん、明治-大正時代と戦後と出版された、うん、雑誌に関して、研究しています。うん、つまり、これらの雑誌に見られる「少女」、少女、女性、要するに少女のイメージを研究しています。うん、「形成」、向でたつて。		
138					今はここですね。

139			Ja.	はい。	
140					少女のイメージが形成。
141			形成[日本語で発話する]。	「形成」。	
142					されたプロセス。
143			Ja, kako se je v bistvu oblikovala ta slika[少女の] umm, in pa kaj je tole. 推移[日本語で発話する][おそらくRikaichanで「推移」の読み方を確認している]。Kako je v bistvu, umm, kako se je v bistvu to razširilo na celo državo, tako v kulturnem pa socialnem smislu[という記事です]。	はい、つまり、どのようにこの[少女の]イメージが形成されたか。うーん、そして、これ[推移のこと]は何でしたっけ。「推移」[おそらくRikaichanで「推移」の読み方を確認している]。つまり、どのように。うーん、つまり、どのようにこれ[少女のイメージ]の形成プロセスが、どのように社会的に、または文化的に全国に広がったか[という記事です]。	
144					今は我が国全体の社会的文化的推移と比較、ここですか。
145			Umm, ja.	うーん、はい。	
146					うん。
147			Pardon, v bistvu se primerja to, kar je slika[少女の] v samih, umm, teh magazinih, s tem, kar je v bistvu splošna slika[少女の] v državi, pač s kulturnega in sociološkega vidika. Pač, o tem.	失礼しました。実は、この、うーん、雑誌自体に見られる[少女の]イメージと、国全体の一般的な[少女の]イメージの社会的文化的比較です。まあ、これについて。	
148					考察を。
149			考察[日本語で発話する]。ja. To je glavna tema.	「考察」はい、これが主なテーマです。	
150					何のテーマですか。
151			Za, umm.	その、うーん。	
152					どの記事ですか。
153			Za, v bistvu za ta članek, ki je tukaj na začetku napisan, umm, 少女雑誌[日本語で発話する]。	つまり、初めに記述されているこの記事の。うーん、「少女雑誌」。	
154					ああ、修士論文ですね。
155			Ja, in članek.	はい、そして記事でもあります。	
156					誰の論文ですか。
157			Umm, predvidevam, da od pisca te naloge, tega članka, ki je, umm, ながわ[日本語で発話する]。	うーん、この論文、この記事の著者の、うーん、「中川」だと思います。	
158					中川さん。
159			ゆうみ[日本語で発話する][「裕美」の読み方に迷う?]	「ゆうみ」[「裕美」の読み方に迷う?]	
160					ゆうみ、ひろみ?
161			A, ひろみ[日本語で発話する]。	あ、「ひろみ」。	
162					うん。
163			Bi tudi lahko bilo, ok.	それもありません。分かりました。	
164					うん。
165			Ok, ja, mislim, da bi se ひろみ[日本語で発話する] bolje slišalo.	はい、はい、「ひろみ」の方がいいと思います。	
166					うん。
167			Umm, naprej[次を読みます]。	うーん、続いて[次を読みます]。	
168					うん。
169			修士研究から得られた知見から、「少女」という言葉は、明治中期、教育制度の確立と近代化を背景にして誕生した新しいジェンダー・カテゴリーであると指摘出来る。	うーん、「修士研究から、得る、え、得た」[Rikaichanで「得る」を検索する]。Ja, to sem spet pogledala.	
170					うん、Rikaichan。
171			Ja, Rikaichan. Ker zgleda, da pozabjam tega[笑]得られた[日本語で発話する]。[6秒間無音]チミ[日本語で発話する][知見のこと、咳く。Rikaichanで「知見」を検索する]。	はい、Rikaichanです、この[笑う]、「得られた」を忘れたので。[6秒間無音]「チミ」[知見のこと、咳く。Rikaichanで「知見」を検索する]。	
172					うん、Rikaichan。
173			知見[日本語で発話する]。	「知見」。	
174					うん。
175			Aha, 知見[日本語で発話する]。ok, 知見から[日本語で発話する]。umm, 少女という言葉は明治中期[日本語で発話する]。preverimo 中期[日本語で発話する][Rikaichanで「中期」を検索します]。	ああ、「知見」はい、「知見から」。うーん、「少女」という言葉は明治中期、「中期」を確認します[Rikaichanで「中期」を検索します]。	
176					中期、うん。
177			中期[日本語で発話する]。ja, umm, きょう[日本語で発話する][教育のことを言う]。ahh, spet sem pozabila [Rikaichanで「教育」を検索する]。	「中期」はい、うーん、「きょう」[教育のことを言う]。ああ、また忘れちゃった[Rikaichanで「教育」を検索する]。	
178					うん、Rikaichan。
179			教育[日本語で発話する]。ja, Rikaichan. 教育制度の[日本語で発話する]。to 確率[日本語で発話する]。[確認します]。Rikaichan[Rikaichanで「確率」を検索する]。と近代化を、背景[日本語で発話する]?	「教育」はい、Rikaichan[で検索します]。「教育制度の」[日本語で発話する]。これ「確率」も[確認します]。「確率」。Rikaichan[Rikaichanで「確率」を検索する]。「と近代化を、背景」?	
180					Rikaichan。
181			Aja, preverjam[Rikaichanで「背景」を検索する]。背景にして[日本語で発話する]。	ああ、確認します[Rikaichanで「背景」を検索する]。「背景にして」。	
182					うん。
183			誕生して、新しいジェンダー・カテゴリーであると[日本語で発話する]。umm, Rikaichan[笑う][Rikaichanで「指摘」を検索する]。	誕生して、新しいジェンダー・カテゴリーであると。うーん、Rikaichan[笑う][Rikaichanで「指摘」を検索する]。	
184					うん。
185			指摘できる[日本語で発話する]。	「指摘できる」。	
186					うん。

187		Ok[15秒間無音]. Umm, pri dajših stavkih ga ponavadi še enkrat preberem.	はい[15秒間無音]。うーん、書段、文が長かったら再読します。		
188				うん。	
189		Dvakrat ali pa trikrat, no.	2回か3回ですが、		
190				うん。	
191		Umm[10秒間無音]。として[日本語で発話する]。Aha, torej tukaj piše, da umm, znanje, ki je bilo pridobljeno iz te magistrske raziskave,	うーん[10秒間無音]。[として]。ああ、つまり、ここに書かれているのは、うーん、この修士研究から得られた知識は、		
192				うん。	
193		Umm[7秒間無音]。v bistvu pokaže, kako se je pa & ta beseda 少女[日本語で発話する]。pojem 少女[日本語で発話する]。umm, 教育制度の[日本語で発話する][Rikaichanで「教育制度」を検索する]。	うーん[7秒間無音]。要するに、まあ、この「少女」という言葉、「少女」という概念がどのように、うーん、明治中期に、うーん、「教育制度の」[Rikaichanで「教育制度」を検索する]。		教育制度。
194					教育制度。
195		確立[日本語で発話する]。	「確立」。		
196					確立。
197		V bistvu preko[教育制度]。	要するに[教育制度]を通して、		
198					Rikaichanで確認していますか。
199		Ja.	はい。		
200				うん。	
201		Umm.	うーん。		
202					さっきは教育の制度をRikaichanで調べましたか。
203		Umm.	あのう。		
204					Rikaichanで教育制度を調べるのは1回目ですか、2回目ですか。
205		Umm, ne, saj sem prej tudi pogledala. Saj sem rekla.	うーん、いいえ、さっきも調べました。そう言ったはずですが。		
206					ああ、もう調べたんです。
207		Da sem[調べたと書きました]。v prvo. Pač, po, ponavadi mi pomaga, če v bistvu vidim branje, oziroma imam v mislih japonski[の読み方か表現]。pač[たとえ]教育制度[日本語で発話する]。pa istočasno še angleški prevod zraven, da lažje pridem do nekakega primernega slovenskega izraza.	はい、1回目に[調べたと書きました]。まあ、ふ、書段は、まあ、読み方を見て、あるいは日本語[の読み方か表現]を見えておいて、まあ、[たとえ]「教育制度」ですね。そして、同時に英語訳もあれば、何らかの適切なスロベニア語の表現にたどり着きやすいです。		
208				うん、うん。	
209		Umm[8秒間無音]。umm, umm, pokaže, kako je v bistvu prišlo do, do te silke oziroma pojma 少女[日本語で発話する]。sredi tega obdobja Maji preko umm, umm, ustajenega, umm, sistema, vzgojnega sistema[教育制度]という意味だがスロベニア語の表現が思い出さなくて意味の近い表現を使う	うーん[8秒間無音]。うーん、うーん、つまり、どのようにこのイメージが、「少女」という概念が、この明治時代中期に、うーん、既成の、うーん、制度、教育制度[教育制度]という意味だがスロベニア語の表現が思い出さなくて「教育制度」の意味の近い表現を使うを通して、[どのように]成り立ったのか示しています。		
210					うん、教育制度。
211		Ja, 教育[日本語で発話する]。Ni vzgojni sistem. To bi jaz morala vedeti, ampak, v redu, zdajle ni.	はい、「教育」。養育制度ではないです。これ「教育」という言葉の意味は知っているべきですが、まあ、今は、		
212				うん。	
213		Ne deluje. Umm, pa pač, kako se je v bistvu, umm [イメージが]。razvijala od tistega obdobja pa do danes[聞き取り不能]。Pač na, na podlagi vse[背景全体]。umm, 背景[日本語で発話する] je background[英語で発話する]。So pravi, predvidevam, da na podlagi vsega, kar se je dogajalo v ozadju, poleg tega, umm, umm, pa č izobrazbe, šolskega sistema, da umm, da gre še za ostale stvari, ki so se dogajale v ozadju, in to je, mislim, na podlagi tega se je uredila nova kategorija, gender. V bistvu dnoženi spol v slovenščini. Umm, ja. Zda] sem to[説明を] v bistvu zakomplicirala[笑う]。	思い出せません。うーん、あとはまあ、どのように、うーん、その時代から今まで[イメージが]変わってきたのか[聞き取り不能]。まあ、[背景全体]をもとに、うーん、「背景」は[background]「英語で発話する」。つまり、背景で起こっていたことをもとに、このうーん、うーん、うーん、教育、教育制度を始め、うーん、それ以外の出来事も背景にあって、それらが、それらをもとにこの新しいカテゴリが整えられました。ジェンダー、スロベニア語で社会的性別です。うーん、はい、今は、まあ、[説明を]しらせてしまいました[笑う]。		
214				うん。	
215		Umm bo v redu ali lahko naprej berem?	うーん、これで大丈夫ですか、続きを読んでもいいですか。		
216					どうぞ。
217	当初一括りに「少年男女」とされていた中から「女子」を切り離し、「少年/少女」という枠組みを作り出す場として機能したのは、子ども向けの雑誌メディアであった。	Umm[Rikaichanで「当初」を検索する]。当初[日本語で発話する]。To sem v Rika, Rikaichan preverila.	うーん[Rikaichanで「当初」を検索する]。「当初」。これはRika, Rikaichanで確認しました。		
218				うん、当初。	
219		Ja, pa naprej 一括りに[日本語で発話する]。ひと[日本語で発話する][読み方に迷い自分自身に問う、おそら[Rikaichanで「一括り」を検索する]？	はい、そして続きは「一括り」、「ひと」[読み方に迷い自分自身に問う、おそら[Rikaichanで「一括り」を検索する]？		
220					一括りと[聞き取り不能]。
221		一括り[日本語で発話する]。	「一括り」。		
222				うん。	
223		Umm, mislim, da bom to [一括り] preverila zaradi tega, ker mi ni, umm, znana raba.	うーん、使い方が分からないので、これ[一括り]を、うーん、確認しようと思います。		
224				うん。	
225		Ampak[使い方が分からないどころか] mislim, da sem celo prvič videla. Umm.	ですが、[使い方が分からないどころか]初めて見たかもしれません。うーん。		
226					今はGoogle。
227		Ja.	はい。		
228					oo.jpに移しましたね。
229		Ja, in bom odprla Kotobank.jp[というウェブサイト]。	はい、そしてKotobank.jp[というウェブサイト]を開きます。		
230					コトバンク。うん。
231		Ja. In ta je v bistvu.	はい、そして、これは要するに、		

232				これ[コトバンク]もよく使いますか。	
233		Um, ponavadi uporabljam enega od prvih treh, ki se pokaže. Pač Koto, Kotobanki racimo, da poznam, ali pa Weblio mi je tudi jasen, umm, poznam. Ponavadi gledam to, no, da je v bistvu napisano, umm, pač s karjijem, tako kot sem jaz iskala, pa v hiragani oziroma katakani v tem primeru zraven.	うーん、普段は、検索結果トップ3の中から1つを選んで表示します。まあ、Koto, Kotobankiはまあまあ知っています。あとはWeblioも分かり、うーん、知っています。まあ、普段はこれ[漢字と読み方]を探していますね。要するに、うーん、私が検索したように漢字が書かれていて、ひらがな、この場合はカタカナがあるのを見ます。		
234				うん。	
235		V bistvu da se neko vidi, da gre za nek vnos iz, iz, umm, iz umm, slovarja, ne. Ker se tukaj vidi, da v bistvu imaš najprej v karjiji, potem pa v okečaju hiragano.	つまり、うーん、辞書から、から、うーん、の出し語だと分かる[ウェブサイトが使いやすいですね、ここ[コトバンクの定義]は、まず漢字があり、カッコの中はひらがながあると表示されていますから[使いやすいです]。]		
236				うん。	
237		Tukaj imaš še drugega[辞書], ta Dictionary Goo, Goo.	ここ[日本語版Google検索結果]は別の[辞書]もあります。このDictionary Goo, Goo.		
238				Goo[Goo辞書のこと]。	
239		[笑う。] Kako je že. Umm, pač, sicer je obratno [おそろくコトバンクとGooのウェブサイトにおいて、漢字とひらがなの表示される順番が違う]、ne. Ampak.	[笑う。]何でしたかね、うーん、まあ、逆[おそろくコトバンクとGooのウェブサイトにおいて、漢字とひらがなの表示される順番が違う]ですけれどね。ですが、		
240				うん。	
241		Ali pa racimo, da imaš zraven[検索する単語] napisano to ali pa o'se [意味[日本語で発音する][ウェブサイトが使いやすい]。]	または、[検索する単語]に「とは」とか「の意味」が書かれている[ウェブサイトが使いやすい]。]		
242				うん。	
243		Umm, in potem grem prebrat[定義を]。	うーん、そして、それから[定義を]読みます。		
244				うん。	
245		Umm, 1つにまとめてくること[日本語で発音する][コトバンクで「括り」の定義を読む]、くる[日本語で発音する] ni ni jasen.	うーん、「1つにまとめてくること」[コトバンクで「括り」の定義を読む]。「くる」はよく分かりません。		
246				そうですね。	
247		Aha, tukaj piše [Rikaichanで「くる」を検索する]。	ああ、ここに書いてあります[Rikaichanで「くる」を検索する]。		
248				Rikaichanで調べて、	
249		Ja, piše pač to tie up[英語で発音する]。Aha, se pravi, v bistvu hito[日本語で発音する] bi lahko že bilo to, ne.	はい、まあ、「to tie up」[英語で発音する]と書いています。ああ、つまり、要するに、「ひとつにまとめて」という意味でいいかもしれませんね。		
250				うん。	
251		Umm, マダ[日本語で発音する][またのこと。] そのもの、いっかつ[日本語で発音する][コトバンクで「括り」の定義を読み続ける]。Umm, ne, tukaj je še ena definicija zraven, ki je v bistvu ista kot zgoraj, samo stavka[の順番] sta zamenjana[コトバンクでいくつかの定義が表示されている]。Umm, v tem primeru sem zadovoljna s tem, kar sem dobila. Če se mi pa zgodi, da mi to, kar dobim iz slovarja, ni všeč.	うーん、「マダ」[またのこと]、「そのもの、いっかつ」[コトバンクで「括り」の定義を読み続ける]。うーん、ここはもう1つの定義があって、上の定義と同じですが、文の順番が違っています。コトバンクでいくつかの定義が表示されている。あう、得られた[検索結果]で十分です。もし、辞書で見つけたものが気に入らない場合は、		
252				うん。	
253		Grem pa potem še naprej gledat, ponavadi na kakšen, umm, Yahoo Chiebukuro, ker tam malo na dajše razločijo.	検索を続けて、普段は、うーん、詳しく説明されているので、Yahoo知恵袋とかで調べます。		
254				うん。	
255		Pač že imajo ljudje[利用者] probleme s kakšno besedo ali pa, umm, slovnico[Yahoo知恵袋に詳しい解説が載っています]。Umm, torej, 当初「括り」に少年男女とされていた中から[日本語で発音する]。	まあ、人[利用者]が単語や文法[がわからず]に困っていたら、「Yahoo知恵袋に詳しい解説が載っています」、うーん、つまり、「当初「括り」に少年男女とされていた中から」。		
256				うん。	
257		Umm, 女子を、きり、きり、きり[日本語で発音する][Rikaichanで「切り離す」を検索する]。Rikaichan [笑う]。	うーん、「女子を、きり、きり、きり」[Rikaichanで「切り離す」を検索する]。Rikaichan[笑う]。		
258				うん。	
259		切り離す[日本語で発音する]。	「切り離す」。		
260				切り離す。	
261		Aja, točno.	ああ、そうでしたね。		
262				うん。	
263		切り離す、少年少女という[日本語で発音する]。mm[Rikaichanで「枠組み」を検索する]。Rikaichan.	「切り離す、少年少女という」、んん[Rikaichanで「枠組み」を検索する]。Rikaichan.		
264				Rikaichan.	
265		Ja, わく、枠組み[日本語で発音する]。	はい、「わく、枠組み」です。		
266				うん。	
267		Aa, 枠組みを作り出す場[「場」の読み方に迷う。はと発音する]、作り出す場[日本語で発音する]？	ああ、「枠組みを作り出す場」[「場」の読み方に迷う。はと発音する]。「作り出す場」？		
268				うん。	
269		Tukaj piše [Rikaichanで「場」の読み方を確認する]。	ここに書かれています[Rikaichanで「場」の読み方を確認する]。		
270				Rikaichan.	
271		Ja, No, predvidevam, da se v tem primeru bere kot [日本語で発音する]。	はい、まあ、おそらくこの場合は「ば」と発音すると思います。		
272				うん。	
273		Umm, [作り出す場として機能したのは子供向けの、雑誌メディアであった][日本語で発音する]。	うーん、「作り出す場として機能したのは子供向けの、雑誌メディアであった」。		
274				うん。	
275		Umm[13秒間無音]、še enkrat preverjam [Rikaichanで「枠組み」を再確認する]。	うーん[13秒間無音]、もう一回確認しています[Rikaichanで「枠組み」を再確認する]。		
276				今は何を調べていますか。	

277			Umm, わく[日本語で発話する].	うーん, 「わく」.	
278					枠組み?
279			枠組み[日本語で発話する]. ja[30秒間無音]. Zdaj v glavi prelevam, umm, ali sem[この文を]. in prebiram stavek še enkrat, ali sem ga sploh prav razumela[を確かめるために].	「枠組み」, はい[30秒間無音]. 今は話の中で考えていて, うーん, そもそも[この文を]正しく理解しているか[を確かめるために], もう一回文を読んでいます.	
280					うん.
281			[40秒間無音]. Ja, torej se zmeraj nisem prepričana, ali sem v celoti prav razumela ta stavek, ampak se mi zdi, da sem nekako bistvo dobila ven iz njega in se veliko več od tega ne bom skrivale z njim. Se pravi, umm, v bistvu, とういつ[当初の言い間違い]と一括り[日本語で発話する][Rikaichanで「一括り」を再確認する]. sem spet samo preverila v, v Rikaichan.	[40秒間無音.]はい, そうですね. この文を正しく理解しているかどうかは, まだ確かではありませんが, 要点は大体読み取れたと思いますので, これ以上は話やしません. つまり, うーん, 要するに, 「とういつ」[当初の言い間違い]と一括り[Rikaichanで「一括り」を再確認する]. もう一回Rikaichanで確認しました.	
282					うん.
283			Umm, najprej so skupaj dali, pač, umm, fante in dekleta in, in znotraj tega so v bistvu izločili 女子[日本語で発話する]. se pravi dekleta.	うーん, まずは, まあ, うーん, 少年と少女を一括りにして, その中, 要するに, 「女子」, つまり少女を切り離しました.	
284					うん.
285			Umm, in v tem, umm, framework, v tem okviru, delovnem okviru, umm, okviru v bistvu, umm, se pravi okviru, imenovanem fanteje oziroma dekleta, umm[10秒間無音]. Kar v bistvu omogoča, da se lahko sploh, umm, ti dve kategoriji, oziroma ta okvir ustvarja, so v bistvu bili mediji; 雑誌メディア[日本語で発話する]. Ne vem, ali čisto razumem [メディアの意味] v tem kontekstu, ker gre za magazin kot tak, pa メディア[日本語で発話する] kot メディア[日本語で発話する].	うーん, そしてこの, うーん, 枠組み[frameworkと英語訳を言う.], この枠組み, うーん, つまり, 少年または少女という枠組みの中に, うーん[10秒間無音]. つまり, うーん, この2つのカテゴリ. またはこの枠組みが作られたのは, 要するにメディア, 「雑誌メディア」のなかからです. この文脈[メディアの意味]がよく分かりません. 雑誌は雑誌で「メディア」は「メディア」ですから.	
286					うん.
287			Se pravi, predvidevam.	つまり, おそらく.	
288					違う表現で訳しましたが[少し聞き取り不能. 雑誌とメディアの違いについて聞いているかもしれない].
289			Ja, ne, pač, to razumem.	はい, いいえ, これは分かるんです.	
290					うん.
291			To sem pač z miško kar šla čez, ne.	これは, マウスのカーソルを合わせただけなんです.	
292					ああ, そうですね.
293			Amm, pač, predvidevam, da je v tem smislu, da gre za revijo, ki se jo smatra kot nek medij v, v okviru štud. medijske študije, ne.	うーん, まあ, おそらく研究, メディア研究の枠組みの中で, 雑誌は何らかのメディアとして見られている, という意味だと思います.	
294					うん.
295			Se pravi, da ne gre za dve loženi stvari, v smislu za magazin pa medije kot si jih, ko najprej recimo pomislis na kakšno televizijo ali pa kaj takega, ne.	つまり, 「雑誌とメディア」は2つ別々のものではないかもしれませんが, 雑誌とは, 普通に思い浮かぶテレビなどのメディアではないですね.	
296					うん.
297			Umm, in da v bistvu ta, v glavnem ta framework [英語で発話する]. umm, so omogočile, umm, revije, ki so namenjene otrokom. Če grem zdaj naprej.	うーん, そして, 要するにこの, 主にこの枠組み「framework」[英語で発話する]が, うーん, 子供向けの雑誌を可能にしたのです. それでは続いて.	
298					うん.
299	1895(明治28)年9月, 雑誌「少年世界」に「少女欄」と名付けられた記事が掲載された.		Umm, 1895年[日本語で発話する]. umm, 明治[日本語で発話する]. umm, 28[日本語で発話する].	うーん, 「1895年」, うーん, 「明治」, うーん, 「28」.	
300					うん.
301			9月[日本語で発話する]. umm, 雑誌[日本語で発話する]. umm, 少年世界に[日本語で発話する]. umm, 少女欄[日本語で発話する]. Preverjam, ali je to らん[日本語で発話する][Rikaichanで「欄」の読み方を検索する]. Ja.	「9月」, んん, 「雑誌」, うーん, 「少年世界」に, うーん, 「少女欄」, これ「欄」が「らん」なのか確認していません[Rikaichanで「欄」の読み方を検索する]. はい.	
302					ああ, 欄.
303			Umm, 少女欄と名付けられた記事が[日本語で発話する]. ah, kaj je ze to 記載[日本語で発話する]?	うーん, 「少女欄と名付けられた記事が」, ああ, これ「記載」は何でしたか.	
304					確認しましょう.
305			Preverjam[Rikaichanで「記載」を検索する]. けいせい掲載の言い間違い]された[日本語で発話する].	確認しています[Rikaichanで「記載」を検索する]. 「けいせい」[掲載の言い間違い]された.	
306					もう一度.
307			A, 掲載[日本語で発話する]. ja.	あ, 「掲載」, はい.	
308					うん.
309			Spet pogosta beseda sicer. Umm, この記事[日本語で発話する]. aja, ne, to je ze bil en stavek zdaj.	繰り返しになりますが, 一般的な単語です. うーん, 「この記事」, あ, これでもう一つの文でしたわ.	
310					うん.
311			Umm, se pravi, umm, leta 1895, deveti mesec, kaj je ze to, ni avgust, september.	うーん, つまり, うーん, 1895年, 9ヶ月目. これは何でしたっけ, 8月ではなくて, 9月です.	
312					[笑う.]
313			[笑う.] Ja, no, pač.	[笑う.]はい, まあ.	
314					そのときに何があったんですか.
315			Ja, umm, je v reviji, umm, 少年世界[日本語で発話する]. kaj je to, fantovski svet, svet fantov.	はい, うーん, 「少年世界」という雑誌に, こういう意味ですか, 少年世界, 少年の世界.	
316					うん.
317			Je, umm, je v njem začel, se je začelo objavljati lenka z naslovom[少女欄]. Članka ali pa kolumne, ne vem, v bistvu, iz tega konteksta ne razumem, ali se je nadaljevala. Predvidevam, da se je, ker je.	うーん, その雑誌から始まり, 「少女欄」という記事の記載が始まりました. 記事が欄, よく分からないですね. この文脈から, 連載していたかどうかは分かりません. していたと思います.	
318					うん, うん.

319		Umm, pač, specifično datum začetka omenjen. Umm, kolumne, umm, 少女欄[日本語で発話する]. Samo preverjam. [Rikaichanで「欄」の意味を確認する].	うーん、記載が始まった日付が述べられていますから。うーん、「少女欄」という欄の[記載日が述べられています]。ちょっと確認します[Rikaichanで「欄」の意味を確認する]。		
320				うん、もう一度[確認する]。	
321		Aja, saj, pač column of text, ja.	ああ、まあ、テキストの欄[column of textと英語訳を言う。]、はい。		
322				うん。	
323		Umm, v bistvu 少女[日本語で発話する] kolumna, v bistvu.	うーん、要するに「少女」欄です。要するに。		
324				うん。	
325		Ja, zdaj sem se spomnila, da je to res.	はい、今本当にそうだと思います。		
326				そうですか。	
327		Ja, ker se, umm, spomnim, ker sem prej raziskovala te stvari, ne.	はい、前にこれについて調べていたので、うーん、思い出しました。		
328				うん。	
329		Nisem, nisem imela datuma sicer, ampak spomnim se pa kolumne 少女欄[日本語で発話する].	日付はありませんでしたが、「少女欄」という欄は覚えています。		
330				少女、うん。	
331	この記事欄の好評を受け、1902(明治35)年、最初の少女雑誌である『少女界』が金港堂書籍から創刊された。	Ja, Umm, この記事欄のこう、好評[日本語で発話する][Rikaichanで「好評」を検索する]? 好評[日本語で発話する], sem preverila, ja.	はい、うーん、「この記事欄のこう、好評」[Rikaichanで「好評」を検索する]? 「好評」確認しました。はい。		
332				うん、Rikaichan.	
333		Umm, を受け[日本語で発話する], umm, 1902年[日本語で発話する].	うーん、「を受け」、うーん、「1902年」。		
334				うん。	
335		Umm, 明治35[日本語で発話する].	うーん、「明治35」。		
336				うん。	
337		最初の少女雑誌である少女界がきん、き[日本語で発話する], umm, to predviam, da je ime založ be, in Rikaichan takšnih stvari.	最初の少女雑誌である少女界がきん、き。うーん、これは出版社の名前だと思いますが、Rikaichanは。		
338				うん。	
339		Ni ravno sposobna[翻訳不能][笑う]. Kako je že,	これ[出版社のこと。]があまり[翻訳不能][笑う]。何でしたか。		
340				それは何ですか、5つの漢字のところですね。	
341		Mm, no, jaz bi, če bi sama iskala, bi šla do tukaj, kjer je 堂書[日本語で発話する] napisan, ne [協力者は「金港堂・書籍」ではなく、「金港堂書・籍」と理解しているようだ].	んん、まあ、私は、自分で探していたら、「堂書」と書かれているところに行き着くのですよね[協力者は「金港堂・書籍」ではなく、「金港堂書・籍」と理解しているようだ].		
342				うん。	
343		No, daj [コンピュータに話しかける。漢字を選択しようとしている]. No, potem pa mi vsaj to označi,	ほら[コンピュータに話しかける。漢字を選択しようとしている]。それでは、せめてこれを選択して。		
344				うん。	
345		Aha, [コンピュータが] vseh pet[の漢字] mi jih je označil.	ああ、[コンピュータが]5つの漢字を選択していました。		
346				うん。	
347		Pač, označevanje kanji v PDFu preko Mozille je včasih malo težavno.	まあ、時々Mozillaで、PDF上の漢字を選択することが難しいです。		
348				うん[聞き取り不能]。	
349		In potem se kakšen več označi in podrobno in potem karkoli je že.	そして、選択される漢字が多すぎたりとか、そういう感じです。		
350				そして、今はGoogleで調べていますね。	
351		Ja, vseh pet kanji v.	はい、5つの漢字を全部です。		
352				[聞き取り不能。]	
353		In sem dobila najprej きん、金港堂、金港堂[日本語で発話する].	そして、まずは「きん、金港堂、金港堂」が出てきました。		
354				kinkoudou.co.jp.	
355		Ja, ja.	はい、はい。		
356				つまり、出版社自身のウェブサイトですね。	
357		Ja, no, saj ne vem, ali gre, verjetno, verjetno gre za to. 堂、書[日本語で発話する], aja, 書籍[日本語で発話する] No, pač, to, ta zadnja dva kanjija sta bila 書籍[日本語で発話する], potem je logično, da gre za njih[出版社の名前], ja [笑う。] Se pravi, き[日本語で発話する], umm, 金港堂書, じゃ、せ、書籍[日本語で発話する], umm, から[日本語で発話する], ah, to sem spet pozabila, Rikaichan [Rikaichanで「創刊」を検索する].	はい、まあ、そうなのかわかりませんが、たぶん、たぶんそれです。「堂、書」、ああ、「書籍」です。まあ、この最後の2つの漢字は「書籍」ですから。出版社の名前たこの「話」が違っています。はい[笑う。]。つまり、「き」、うーん、「金港堂書、じゃ、せ、書籍」、うーん、「から」、ああ、また忘れました。Rikaichan[Rikaichanで「創刊」を検索する]。		
358				うん。	
359		創刊された[日本語で発話する].	「創刊された」。		
360				うん。	
361	『少女界』は、「少年男女」から切り離され「少女」と総称されるようになった「女子」を対象にした初めての雑誌であるとともに、現在発行されている少女マンガ雑誌の源流となった。	Umm, zdaj, zaradi, umm, dobrega sprejetja te kolumne, prej omenjene kolumne, je leta 1902, umm, izšla prva 少女[日本語で発話する] revija, imenovana 少女界[日本語で発話する] pri založbi きんとかい[金港堂の古い間違い]。Umm, 少女界は[日本語で発話する], umm, 少年男女から切り離され、少女とそう、そう、そうかい[総称のこと]総称[日本語で発話する]? 総称[日本語で発話する].	うーん、つまり、うーん、この欄、さき述べてられた欄の好評のおかげで、1902年に、うーん、「少女界」という最初の「少女」雑誌が「きんどうかい」[金港堂の古い間違い]書籍で出版されました。うーん、「少女界」は、うーん、「少年男女から切り離され、少女とそう、そう、そうかい」[総称のこと]。[Rikaichanで「総称」を検索する]? 「総称」。		
362				うん、Rikaichan.	
363		Ja, 総称され[日本語で発話する], umm, pomen be [聞き取り不能][Rikaichanで「総称」の意味を確認しているかもしれない]. Ok, bomo videli, と総称されるようになった[日本語で発話する], umm, 女子をたい、対象[日本語で発話する].	はい、「総称され」、うーん、あとは意味[聞き取り不能][Rikaichanで「総称」の意味を確認しているかもしれない]。まあ、いいです、「と総称されるようになった」。うーん、「女子をたい、対象」。		

406					どうしてそう決めたんですか。
407		Umm, zaradi tega, ker sem to[みずから] večkrat slisala.	うーん、これ[みずから]を聞いたことが多いですから。		
408				うん。	
409		Umm, uporabljeno, oti's z[日本語で発話する] sem tudi že slisala, samo ne tako pogosto kakor mizu[日本語で発話する]。	うーん、[みずから]使われるのを聞いたことが多いですから、「おのずから」も聞いたことがありますが、「みずから」程ではないです。		
410				つまり、おのずからよりみずからをよく聞いたことがありますから。	
411		Ja.	はい。		
412				うん。	
413		Zdaj, umm, če bi mi bilo toliko v interesu, bi preverjala, katero se večkrat uporablja, umm, ampak se mi ne da[笑う]。	で、うーん、興味があれば、どちらの方がよく使われているか確認しますが、うーん、面倒です[笑う]。		
414				[笑う。]	
415		Ne, včasih vem, da so, da so napisane ta umm, pa č v tem slovarčku, ki se kot Rikaichan pojavi spodaj, um, so včasih na prvem mestu določene stvari, ki se jih ne uporablja tako pogosto, vsaj v pogovornem jeziku, kar sem jaz opazila, kot pa tisto, kar je recimo na drugem mestu napisano. Ampak sem videla, da se podo, um, podobna oziroma lista razporeditav pogosto tudi v japonskih slovarjih pojavlja, tako da predvidevam, da gre tukaj tudi za kakšno zastarelost slovarjev, zraven, se pa ne spuščam toliko v to, da bi dejansko vedela kako in kaj, ne.	うん、時々重かれています。うーん、まあ、Rikaichanのように表示される辞書で、うーん、私の経験上、時々あること[単語の定義や意味などが]最初に書かれていますが、[それは]少なくとも、口語でついでに記載されている単語の説明ほど一般的には使われていないのです。でも、似た、似たような[他の]辞書でも同じような構成がよく見られると気づいたので、これは辞書の古さも関係していると思いますが、何がどうなっているか分かるほど詳しくは調べていません。		
416				うん。	
417		Umm, 自ら剣を持って戦った最初の戦う少女となった[日本語で発話する]。Umm, torej, tukaj piše, da, umm, v. v reviji 少女クラブ[日本語で発話する]。ki je, umm, bila izdana pri Koudanshū umm, ja mela notri mnogo z nasloviem [戦う少女][日本語で発話する] avtorja Tezuke Osamuja, in da gre tukaj za, umm, ni specifično povedan splošnega junaka. V tem primeru piše samo, da glavni junak ima srce oboja, umm, umm, dekle in dečka, je pa ime pač サファイア[日本語で発話する] zraven, na podlagi česar bi lahko predvidevali, da lahko gre primarno za, umm, dekle.	うーん、「自ら剣を持って戦った最初の戦う少女となった」、うーん、つまりここは、うーん、講談社で出版された「少女クラブ」という雑誌に、うーん、手塚治虫の「リボンの騎士」というマンガがあって、うーん、この場合主人公の性格が特に明記されていません。主人公が両方、うーん、うーん、少女と少年の心を持つことだけが書かれていますが、名前は、まあ、「サファイア」ですから、そこから主に、うーん、少女だと推測できます。		
418				うん。	
419		Umm, ja, pa v bistvu potem je že uporabljen ta サファイアの娘[日本語で発話する]。se pravi, da gre za princeso, umm, ki se je s svojim, umm, mečem v rabi bojevala in tako je, umm, nastala, postala prva, umm, dekle, ki se bojuje, 戦う少女[日本語で発話する]。kar je pač tema tega članka.	うーん、はい、あと要するに、この「サファイアの娘」の記載もありますから、つまり、うーん、自分の、うーん、剣を持って戦った節のことで、そこから、うーん、生まれました、最初の、うーん、戦う少女が生まれました。まあ、この記事のテーマである「戦う少女」が[生まれました]。		
420				うん。	
421	以後、少女マンガには「戦う少女」をモチーフにした作品が現在に至るまで数多く描かれている他、アニメーションやドラマといった異なるメディアにおいても「戦う少女」のモチーフを散見することが出来る。	Umm, 以後、少女マンガには戦う少女をモチーフにした作品が現在に[日本語で発話する]。umm, 至る[日本語で発話する]? Preverjam [Rikaichanで]「至る」を検索する。	うーん、以後、少女マンガには戦う少女をモチーフにした作品が現在に、うーん、「至る」を確認します[Rikaichanで]「至る」を検索する。		
422				うん。	
423		Ja, 至るまで[日本語で発話する]。umm, すうおく[日本語で発話する]「数多くのこと」? Ne, preve [Rikaichanで]「数多く」を検索する。数多く[日本語で発話する]。	はい、「至るまで」、うーん、「すうおく」[数多くのこと]? いいえ、確認します[Rikaichanで]「数多く」を検索する。「数多」。		
424				うん。	
425		Sem preverila, ok, 数多く書かれている他[「他の読み方に少し違う」アニメーションやドラマといった]日本語で発話する]。ah, tega [異なる] sem spet opazila, Rikaichan[Rikaichanで]異なる」を検索する。	はい、確認しました。「数多く書かれている他」[「他の読み方に少し違う」アニメーションやドラマといった]。ああ、またこれ[異なる]を忘れませんでした。Rikaichan[Rikaichanで]異なる」を検索する。		
426				うん。	
427		異なるメディアにおいて戦う少女のモチーフを[日本語で発話する]。umm, Rikaichan [Rikaichanで]「散見」を検索する。Umm, さ, 散見[日本語で発話する]。	「異なるメディアにおいて、戦う少女のモチーフを」。うーん、Rikaichan[Rikaichanで]「散見」を検索する。うーん、さ、「散見」。		
428				うん。	
429		散見することができる[日本語で発話する]。Umm, aha, 以後[日本語で発話する]。[8秒間無音]Umm, tukaj piše, da je motiv, umm, dekle, ki se bojuje, bit, umm, do zdaj uporabljen že v marsikaterih delih, poleg 少女[日本語で発話する] tudi v animaciji, dram, umm, といった異なる[日本語で発話する]。in podobnih medijih. Umm, [において]も戦う少女のモチーフを[日本語で発話する]。umm,	「散見することができる」。うーん、ああ、「以後」[8秒間無音]。うん、うーん、ここは、うーん、戦う少女のモチーフが全て、うーん、すでに様々な作品において、「少女マンガの他にアニメーション」ドラマ、うーん、「といった異なる」。そして、そのようなメディアにおいて使われてきたと書いています。うーん、「[において]も戦う少女のモチーフを」。うーん、		
430				今は同じの[文]を確認しましたか。	
431		Ja, še enkrat.	はい、もう一回です。		
432				うん。	
433		散見[日本語で発話する]。ja, Umm, v bistvu ta zadnji del stavka je nekako samo ponovitev prviga v drugi obliki[笑う]。Jaz pa tako razumem no, Pač, da se lahko vidi ta motiv, umm, dekle, ki se bojuje, tu in tam v medijih nasplošno.	「散見」。はい、うーん、要するにこの文後半は、文前半のただの繰り返しです[笑う]。少なくとも、私はそう解釈しています。まあ、この、うーん、戦う少女のモチーフが、一般的にメディアであちこちに見られるというわけです。		
434				うん。	
435	それでは、少女マンガは「戦う少女」をどの様に描いてきたのだろうか。当該、少女マンガにおける「戦う少女」研究は、冨原美奈子[「一点論」(1998)]、「少女たちの戦歴」(1998)、村瀬ひろみ[「フェミニズム・サブカルチャー批評宣言」(2000)]、斎藤環[「戦歴美少女の精神分析」(2000)]を始めとするマンガ批評研究を中心に行われた。	Umm, それでは少女マンガは戦う少女をどのように描いてきたのだろうか[日本語で発話する]? Tukaj postavi vprašanje, umm, torej, kako se, kako 少女[日本語で発話する] manga portretira. umm, dekle, ki se bojuje. Umm, とがは「当初の言い間違い」。少女マンガにおける戦う少女研究は[日本語で発話する]。umm, tukaj gre za ime.	うーん、「それでは少女マンガは戦う少女をどのように描いてきたのだろうか」[日本語で発話する]。うん、つまりこのように、「少女マンガがどのように、うーん、戦う少女を描くか。うーん、「とうしよ」[当初の言い間違い]」。少女マンガにおける戦う少女研究は、うーん、これ[冨原美奈子]は名前のこと。		
436				うん。	
437		Ki ima en zelo zakompliciran prvi kanji[笑う]。	難しい? 目の漢字の[名前][笑う]。		
438				[笑う。]	
439		Ne vem, ali sem ga že kdaj videla.	見たことがないかもしれません。		
440				どうして名前だと思ったんですか。	

441		Umm, najprej me že ta, mislim, iz peth kanjiev je narejen in japonščina nima zelo pogosto peth kanjiev na kupu.	うーん、まずは、この、まあ、5つの漢字でできていますが、日本語では、5つの漢字の熟語はほとんどないと思います。	
442				うん。
443		Razen, že gre za kakšno ime. Umm, potem že ta drug kanji [藤を指す] je ta, kaj že, フジ[日本語で発話する], ki je zelo pogosto v priimkih, pa ta Minako je pa peč Minako.	名前以外は、うーん、あと、この2つ目の漢字[藤を指す]も、何でたか。「フジ」、苗字によく出てきます。そして、この美奈子はまあ、美奈子です。	
444				うん、名前。
445		Ja, Torej, ker bi rada vedela, kako se ime prebera, zadevo [藤美奈子] kopiram [日本語版 Google] umm, pa poščem, ali so tukaj. Sicer, um, ko mi dela [コピー] - の操作ができていない。Ni, ni, ni kopiralo.	はい、そして、名前の読み方が知りたいですから、これ[藤美奈子]をコピーして、うーん、ここ[日本語版 Google]にコピーして、あるかどうか調べてみます。[コピー]の操作ができていない、コピーできていない、できていないです。	
446				うん。
447		Umm [コピーして Google で [藤美奈子] を検索する], pa pogledam, ali obstajajo druga imena [同じ名前の他の人という意味], ali že kaj piše. Na pod [コピー] - 句に話かけろ。Ampak da gre za, da gre za nekoga, ki je zadevo objavil. [検索結果] moralo biti ime prisotno.	うーん [コピーして日本語版 Google で [藤美奈子] を検索する]。そして、他の名前 [同じ名前の他の人という意味] があるか、書かれているか調べます。ほら、やっ [コピー] - 句に話かけろ。でも、もし何かを出した人だったら、名前が [検索結果] にあるはずですよ。	
448				うん。
449		Aha, Saito. Ne, to ni niti knjigi [おそらく] [書] [と] [書] [のこと], Rikaichan [書] の読み方を確認する。Aja, možno bi bilo glede na dano branje, ki ga Rikaichan da. Umm, predvidevam, da gre za staro obliko knjiga.	ああ、サイトウ、いいえ、同じ漢字ではないです [おそらく] [書] [と] [書] [のこと], Rikaichan [書] の読み方を確認する。ああ、Rikaichan が表示する読み方によると、あり得るかもしれません。うーん、旧字体だと思います。	
450				うん。
451		Umm, se pravi Sato Minako. Umm, zdaj za ime [タイトル] のこと,タイトル [職業] のために、また Rikaichan [Rikaichan で] [紅一点論] を検索する。紅一点論 [日本語で発話する]。Umm, 1998年 [日本語で発話する]。umm, 少女たちの戦い [日本語で発話する] [おそらく] [書] を見て [歴史] の [史] を見出す。Rikaichan [戦歴] を検索する? A, 戦歴, točno.	うーん、つまり藤美奈子です。うーん、今は名前 [タイトル] のこと、タイトル [職業] のために、また Rikaichan を使っています [Rikaichan で] [紅一点論] を検索する。「紅一点論」、うーん、「1998年」、うーん、「少女たちの戦い」 [おそらく] [書] を見て [歴史] の [史] を見出す。Rikaichan [戦歴] を検索する? あ、「戦歴」、そうでしたね。	
452				うん、Rikaichan。
453		Ja, Umm, 1998年 [日本語で発話する]。umm, spet ime, た、たせひろ [日本語で発話する] [村瀬ひろみ] のことを言う?	はい、うーん、「1998年」、うーん、また名前です。「た、たせひろ」 [村瀬ひろみ] のことをいう?	
454				何とか何とか。
455		Ja, Preverjam [村瀬ひろみ] を日本語版 Google で検索する。Mn, ja, knjige so na Amazonu, samo mislim, da ne bo branja primka tam napisanega.	はい、確認しています [村瀬ひろみ] を日本語版 Google で検索する。んん、はい、本は Amazon にありますが、名字の読み方はそこに載っていないと思います。	
456				つまり、今 Google で調べたら出てきたのは、
457		Ja, spet sem šla na [日本語版] Google. Ja, tja, točno, ja.	はい、また [日本語版] Google に移りました。はい、そこですね、はい、	
458				うん。
459		Umm, pa nijer ne zgleda, da bi takoj dobila branje za to ime, tako da poskusim še brez mena.	うーん、そして、この名前の読み方は、すぐに身につけられないようなので、今は名前だけでやってみます。	
460				うん。
461		Samo za, za 村瀬 [日本語で発話する]?	[村瀬]だけを、「村瀬」?	
462				うん。
463		Bi lahko bil ja.	あり得ますね。	
464				うん。
465		Zakaj sem pa jaz prej rekla tase [日本語で発話する], pa ne vem.	どうして、私がさっき「たせ」と言ったか分かりません。	
466				[笑う、]
467		Mislil, da sem napačen prvi kanji videla. Se pravi Murase Hiromi, フラニズム・サブカルチャー [日本語で発話する]。Men, to [批評] spet Rikaichan [Rikaichan で] [批評] を検索する。	たぶん、1つ目の漢字を見間違えました。つまり、村瀬ひろみ [「フラニズム・サブカルチャー」、ん、これ [批評] はまた Rikaichan です [Rikaichan で] [批評] を検索する。	
468				うん。
469		批評 [日本語で発話する]。	「批評」。	
470				うん。
471		批評宣言 [日本語で発話する]。umm, 2000年 藤美奈子 [日本語で発話する]。umm, タマキ [日本語で発話する]? Branje z Rikaichan [確認します] Verjetno [Rikaichan で] [題] を調べるか [戦歴] を調べるか不明。	「批評宣言」、うーん、「2000年 藤美奈子」、うーん、「タマキ」? Rikaichan で読み方を確認します。「たぶん」 [Rikaichan で] [題] を調べるか [戦歴] を調べるか不明。	
472				うん。
473		Umm, ok, tu [題] のことをいう je star kanji noter. Ne, ne ni 戦歴 [日本語で発話する], saj se uporablja to. Ja, 戦歴 美少女の精神 [日本語で発話する] Ne, to ni, ne vem. A ja? 精神分析 [日本語で発話する] [おそらく] [Rikaichan で] 読み方を確認する。	うーん、はい、ここ [題] のことをいうは旧字体です。いいえ、そうではないです。「戦歴」、これは使われないので、はい、「戦歴 美少女の精神」? いいえ、分りません。[読み方] がそうなのですか。「精神分析」 [おそらく] [Rikaichan で] 読み方を確認する。	
474				うん、最初に出てくるこの4つの漢字を確認しますか。
475		Ja, tukaj, tukaj za določene, umm, ustajene fraze.	はい、ここ、ここは、固定の、うーん、フレーズの。	
476				うん。
477		Umm, pač, Rikaichan skupaj pokaže, ne [おそらく] 熟語も表示するという意味。	うーん、まあ、Rikaichan が一緒に表示してくれますね [おそらく] 熟語も表示するという意味。	
478				うん。
479		V tem primeru vsa štiri kanji [表示されたので], se pravi 精神分析 [日本語で発話する]。	この場合は、4つの漢字とも表示されたので、つまり「精神分析」です。	
480				うん。
481		Čeprav mene je zanimalo samo za prva dva [漢字], kako se dejansko prebereta.	私が知りたかった読み方は、最初の2つ [漢字] だけです。	
482				うん。

483		Umm, 2000年をはじめとするマンガ[日本語で発話する]。umm, 批評[日本語で発話する]。umm, 研究を中心に行われた[日本語で発話する]。Mn, tukaj piše o prvih oziroma preteklih raziskavah glede deklic, ki se bojujejo, umm, in navaja Satō Minako in, kaj je že bilo to [Rikaichenで「紅一点論」を再確認する]。紅一点論[日本語で発話する]。Rikaichen.	うーん、「2000年をはじめとするマンガ」。うーん、「批評」。うーん、「研究を中心に行われた」。んん、これは最初の、戦う少女の先行研究について書いてあり、斎藤美奈子と、何でしたか、Rikaichenで検索します[Rikaichenで「紅一点論」を再確認する]。「紅一点論」を述べています。		
484				うん。	
485		Umm, umm, dan prevod je, da gre v bistvu, kaj, za umm, teorjo.	うーん、うーん、翻訳は、要するに、何と云うか、うーん、理論です。		
486					英語訳はThe lone womanと書かれていますね。
487		The lone woman in a group ne woman in a group [「紅一点論」が「紅一点」の英語訳]。Potem predvidevam, da je to teorija same, osamljene ženske, same ženske?	The lone woman in a group. [「紅一点論」が「紅一点」の英語訳]。つまり、これは、独り、独りぼっらの女、独りの女の理論でしょうか？		
488				うん。	
489		Pač, če bi bil naslov toliko bolj pomemben, bi se spravila tudi potem gledati, kaj dejansko [意味], mislim, bojijo definicijo tega [定義と言っているが意味のこと]。kar je v slovenščini. Potem naprej zgo umm, 少女たち、たちの[日本語で発話する]。umm, 戦歴[日本語で発話する]。	まあ、タイトルがそこまで重要でしたら、どういう[意味]か、まあ、更に良いタイトルの定義[定義と言っているが意味のこと]も頭をつけて。そして、読んで。うーん、「少女たち、たちの」。うーん、「戦歴」。		
490				うん。	
491		Se pravi zgodovina, vojaška zgodovina, umm, deklet. Umm, potem od umm, Murase Hiroshi. Feminizem in subkultura. Preverjanje[批評][日本語で発話する]。[Rikaichenで「批評」を検索する]。Umm, 批評宣言[日本語で発話する]。	つまり歴史、少女たちの、うーん、戦歴です。うーん、そのあとは、うーん、村濱ひろみのフェミニズム・サブカルチャーです。「批評」を確認しています[Rikaichenで「批評」を検索する]。うーん、「批評宣言」。		
492				うん。	
493		Kako je to v slovenščini [スロベニアでどのように表現できるかという意味]。	スロベニア語でどうでしょうかね[スロベニアでどのように表現できるかという意味]。		
494				[笑う。]	
495		Malo težko, pač. Ta review ni pregled v slovenščini, kako bi temu sploh rekli [英語のreviewに該当するスロベニア語が思い当たらない]。Criticism, kritika, kritična umm [おそらくRikaichenで「宣言」を検索する]。announcement [英語で発話する]。ni mi v šec [笑う] [「批評」のスロベニア語訳に納得していない]が、そのまま次の「宣言」のスロベニア語訳に移る]。	まあ、少し難しいです。この批評[reviewと英語訳で言う]は、スロベニア語の検討[という意味]ではないです[英語のreviewに該当するスロベニア語が思い当たらない]。何を言いたいのでしょうか。批評[criticismと英語訳を言う]。批評。うーん[おそらくRikaichenで「宣言」を検索する]。「Announcement」[英語で発話する]。裏に入りません[笑う] [「批評」のスロベニア語訳に納得していない]が、そのまま次の「宣言」のスロベニア語訳に移る]。		
496				うん。	
497		Umm, declaration, proclamation [英語で発話する]。	うーん、[declaration, proclamation] [英語で発話する]。		
498					今は宣言を確認して[聞き取り不能]。
499		Ja, preverjam. Gledam prevode, no. In v angleščini [宣言の意味]。razumem, ne znam pa spraviti v lepo slovenščino. Kaj bi temu rekli, umm, mm, declaration, announcement [英語で発話する]。[6秒間無音]。Torej [笑う]。	はい、確認しています。まあ、翻訳を見ています。英語で[宣言の意味]は分かりますが、きれいなスロベニア語に訳せません、何と言えいでしょうか。うーん、んん、[declaration, proclamation] [英語で発話する]。[6秒間無音]。つまり[笑う]。		
500				[笑う。]	
501		Ker je zadeva tako pomembna, no, jaz potem tukaj, kar pač razlagam, grem umm, ponavadi na umm, brez is [少し聞き取り不能] [おそらく日本語版GoogleでウェブサイトのURLを入力していたら間違えました]。umm, Amebis.si prevajanje [英語からスロベニア語に翻訳するウェブサイト]。	これは大事ですから。まあ、この場合私はここで、説明していることを、うーん、普段、うーん、isなしで[少し聞き取り不能] [おそらく日本語版GoogleでウェブサイトのURLを入力していたら間違えました]。うーん、Amebis.si [英語からスロベニア語に翻訳するウェブサイト]の翻訳を利用します。		
502				うん。	
503		To je slovenska stran [Amebis.si]いくつかの「宣言」の英語訳の類義語を入力してスロベニア語訳を調べる] za prevajanje angleških, umm, aja, declaration deklaracija, ne. Potem se ponovi, ko to stran vidim, spominj kakšne, umm, umm, umm, primerne slovenske ustreznice, umm, ampak večkrat si pomagam potem tudi s tem [Amebis.si]。sploh še ni, če hočem še kakšen, umm, dodatno prevod dobiti zraven, kakšno variacijo in podobno. Se pravi, tukaj imas potem še oznake, izpoved, razglasev razglasev recimo. Ai pa tudi ne. Deklaracija, Deklaracija mogoče, ker gre za akademski članek [今読んでる記事]。predvidevam, ai pa neko [笑う] tako knjigo. Se pravi, samo ker gre za kritično in deklaracije skupno to je malo težko spet [笑う]。Umm, kri, kritična deklaracija? Tam nekeje?	これは、英語からスロベニア語に翻訳するためのウェブサイトです[Amebis.si]いくつかの「宣言」の英語訳の類義語を入力して、スロベニア語訳を調べる]。うーん、ああ、[declaration]。宣言[スロベニア語訳を言う]。]ですね。普段はこのサイトを見たらすぐ、何らかの、うーん、うーん、うーん、スロベニア語の適切な訳語を思い出しますが、ですが、うーん、特に、うーん、私のVUE.jsを学ぶための翻訳が必要なときには、これ[Amebis.si]をよく使います。ここにマーク[おそらくそのウェブサイトで検索できるサブドメイン]もあって、「宣言」の検索結果が表示された。]。供述、宣言、宣言[適切]かもしれませんね[関連語や類義語を調べる]。]。それでいいかもしれません、宣言、[今読んでる記事]。]が訳語かそのよな[笑う]。]本だと思えますから、宣言かもしれません。つまり、ただ、これは、批評と宣言が共起していますから、まあ少し難しいです[笑う]。]。うーん、批評的宣言? そんな感じですかね。		
504				うん。	
505		Prevajanje naslovov je težko [笑う]。	タイトルの翻訳は難しいです[笑う]。		
506					はい、とても難しいですね。
507		Ja Umm, potem naprej je, umm, Satō, kaj smo že rekli. Takeshi, meni se zdi, ja, [Rikaichenで「環」の読み方を確認する]。Ne, 環 [日本語で発話する]。	はい、そして、続いては、うーん、斎藤、何でしたっけ、タケシ[環のこと]。]だっただと思います。はい、[Rikaichenで「環」の読み方を確認する]のいいえ、「環、環」です。		
508				うん。	
509		Sem preverila, spet. Umm, gre pa za umm, tale š. せん, し [精神]。umm, preverjam spet, kaj je bilo zdaj zapisano [Rikaichenで「精神分析」を再確認する]。	また確認しました。うーん、これは、うーん、この「し、せん、し」[精神]。うーん、また書かれていることを確認しています[Rikaichenで「精神分析」を再確認する]。		
510					精神分析、うん。
511		Ja, v angleščini, umm, se pravi, psihoanaliza. Č akajte. 戦闘美少女 [日本語で発話する]の]の, umm, kaj je že. Psihoanaliza lepi deklet, ki se bojujejo samo to ni ravno ustrezno v tem primeru, ker je 戦闘 [日本語で発話する] in je za boj.	はい、英語では、うーん、つまり、精神分析です。ちょっと待って下さい、「戦闘美少女」の、うーん、何でしたか、戦う少女の精神分析ですが、「戦闘」は戦いですから、適切ではありません。		
512				うん。	
513		Bojujočih se, bojujočih se deklet, ne vem [笑う]。	戦闘、戦闘している少女、分かりません[笑う]。		
514				[笑う。]	

515	それまでほとんどメディア分析の対象とされてこなかった少女マンガを批評の対象としたという点で、彼らの功績は大きい。	Ne bom preveč komplicirala. Umm, to, umm, pač naprej piše, da umm. To so bile v bistvu prve, umm, takaj, 批評[日本語で発話する] je aha, se pravi, se pravi, umm, prve kritične raziskave, umm, mang, ki so v bistvu to temo imele za center svoje raziskave. Umm, それまでは本当[「ほとんど」を強調する]が、ほん、ど、それまで、あ、ほとんど[日本語で発話する]。ja[笑う]。ほとんどメディア分析の対象とされて、こ、されてこなかった少女マンガを批評の対象、対象としたという点で彼らの[日本語で発話する][Rikaichanで「功績」を検索する]。Rikaichan.	あまり複雑に考えないことにします。うーん、これは、うーん、まあ、まずは、うーん、これが要するに初めて、うーん、ここ、「批評」は、ああ、つまり、つまり、うーん、要するに、このテーマ[戦う少女]を中心に、最初の批評的研究について書かれています。うーん、「それまで」は本当[「ほとんど」を強調する]、メデイ、あ、ほん、ど、[「それまで、あ、ほとんど」、はい[笑う]。「ほとんどメディア分析の対象とされて、こ、されてこなかった少女マンガを批評の対象、対象としたという点で彼らの」]。Rikaichanで「功績」を検索する]。Rikaichan.		
516				うん。	
517		功績は大きい[日本語で発話する]。Umm, glede na to, da se do takrat, umm, umm, ni, ni, ljudje niso ravno ucvrjali s 少女[日本語で発話する] mangami, je v bistvu njihov prispevek k znanosti velik. Umm, こうして[日本語で発話する]。	「功績は大きい」。うーん、それまで、うーん、うーん、人はあまり「少女」マンガを対象にしていなかったと考えると、彼らの研究への功績は大きいです。うーん、「こうして」。		
518				ああ、これですね。	
519		Ja, pač, povzetek stavka.	はい、まあ、文の要約です。		
520				はい、はい。	
521		Moj povzetek stavka, ja.	私の文の要約、はい。		
522				では、そろそろ終わりましょうか。	
523		Umm, tudi lahko, ja.	うーん、構いません、はい。		
524				ここからはタイトルばかりで。	
525		Aja, ja, vidim.	ああ、はい、そうですね。		
526				第2章では。	
527		Ja, v bistvu naslove, ki jih umm.	はい、つまりタイトルを、うーん。		
528				そうですね。時間もう、50分ほどは経っていますから。	
529		Možno, ja. Ne vem, saj mora pisati.	そうかもしれませんが、分かりません。表示されているはず。		
530				うん。	
531		Ja[笑う]。Lahko.	はい[笑う]。いいです。		
532				はい、ありがとうございます。	
533		Ni za kaj, upam da bo pomagalo.	とんでもないです。役に立つと嬉しいです。		